

彫刻

応募点数	14点	招待作品	6点
入賞点数	6点	展示点数	20点
入選点数	8点	◎は移動展出品作品	

(総評) 今年の出品点数はやや少なかったのですが、作者の発想は多彩で、温かい雰囲気をも出し出しています。

また、技法や材料についても木彫、石彫、石膏、テラコッタをはじめ、複合素材での独自の形態のものまで発表されています。

今年も引き続いて、県の進める文化芸術次世代育成支援事業の一環である高校生諸君のテラコッタ作品を展示できていることも喜ばしいことでもあります。

(文責 山岡 弘迪)

金賞 ◎ ^{あな た み} 貴方は見ているのか? ^{すず き ゆう じ} 鈴木祐司 (益田市)

絶望的な境地を表現するために、ガラスや船食い虫の穴あきのある流木など、材料の特性を生かし、造形意欲にあふれています。天空をみつめ、希望を求める姿を感じています。胴体部分に多く配置されているガラス素材は、立体構成の面白さを追求する手段として効果的に用いられています。

(文責 山岡 弘迪)

銀賞 ◎ ^{し ゃ じ ゃ} 種々の芽 ^{たち ばな} 立花 ^{わたる} 航 (出雲市)

植物の芽立ちのイメージを形にした作品です。貝や骨、種子からヒントを得て制作され、柔らかさや温かさを感じます。石膏に水彩絵の具と色鉛筆で効果的な着色がしてあります。

(文責 山岡 弘迪)

銀賞 ◎ ^{なつ} 夏のスケッチ ^{やま きき え み} 山崎恵美 (松江市)

作者は近年テラコッタの新技法に挑戦し、可塑性のある心地よい感触を与える粘土素材を手中にしたことで、夢中になって制作した様子がうかがえます。モデルの顔をしっかりとらえた立体感のある骨組みは、若々しい青年の表情をみずみずしく表現できています。

(文責 山岡 弘迪)

銅賞 ◎ Family '18 ^{お ぞえ} 尾添 ^{のぼる} 昇 (出雲市)

正面から見ると、今にも子供の声が聞こえてきそうなユーモラスな作品です。背面

からは、大地のような母親の姿が見て取れます。「動と静」が一つの作品となり作者の愛情が伝わってくる作品です。 (文責 山岡 弘迪)

銅賞 ④ **ちよっと一服** ^{いっぶく} 岩佐学 ^{い わ さ まなぶ} (松江市)

密度のある木彫用の素材を生かし、彫刻刀を巧みに用いて、老人の姿を力強く表現されています。日々の暮らしの風情を感じさせる労作です。 (文責 山岡 弘迪)

銅賞 ④ **core** 田部温子 ^{た べ あつ こ} (松江市)

木の実や種子の形から発想して、抽象彫刻を構成されています。木彫による緊張感のある球体表現への追求の跡がうかがえます。

今後、木彫による表現を一層続けられるよう期待します。 (文責 山岡 弘迪)

入 選

	題 名	氏 名	備 考
④	災害から身を守ろう	吾 郷 薫 (大田市)	奨励賞
	鶴の舞	稲 村 守 泰 (松江市)	
	延焼とめた佛	佐 藤 信 光 (安来市)	
	みかん	佐 藤 信 光 (安来市)	
	経験	小 村 朱 加 (出雲市)	
	眼光	原 雪希菜 (出雲市)	
	タツノオトシゴ	安 達 朋 花 (松江市)	
	夏の男	大 國 希 海 (出雲市)	

招 待

	題 名	氏 名	備 考
④	辻に立つ	荒 木 文 夫 (松江市)	
④	うさぎ	井 上 博 (松江市)	
④	波を越えて	松 本 健 志 (出雲市)	
④	あうん	田 中 俊 晴 (江津市)	
	祈り	山 岡 弘 迪 (出雲市)	
④	タイム トラベル	近 田 裕 喜 (安来市)	